

平成27年度 竜丘児童自由画保存顕彰委員会 事業報告

事業名	目的・内容	報告・反省
<p>調査保存研究事業 (期 日) 通年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原画を適切に保存し、後世に引き継ぐ。</li> <li>・ 竜丘の文化財として保存顕彰していくため、調査研究、学習活動を行うと同時に、広く地区内外へ周知し、顕彰活動を行う。</li> </ul> <p>児童自由画中性紙箱保存作業① 6月19日(金)</p> <p>児童自由画中性紙箱保存作業② 12月1日(火)</p>	<p>喫緊の課題であった児童自由画の保存作業について、整理されてあった約140点を、中性紙の箱に入れ、絵と絵の間には中性紙である久堅和紙を挟み、小学校の自由画考古室に保存した。</p> <p>保存場所の候補のひとつである小学校敷地内にある蔵の状況を、美博の学芸員の方に調査していただいた結果、湿度や気温の変化が大きく、蔵としての機能が低下しているため、自由画の保存場所としてはあまり適していないという結果となった。</p> <p>最大の懸案事項であった保存については、改善する事が出来た。残された絵の保存と、保存場所については、引き続き検討していく。</p> <p>また、自由画関連資料として、馬場町の宮原氏より、東京クレイヨン商会発行の『小学生・中学生クレイヨン画集』の寄贈を受けた。</p>
<p>児童自由画レプリカ活用事業 (期 日) 通年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レプリカを作製し、常に小学校には全ての自由画が観賞できる環境を整える。</li> <li>・ 公民館でもレプリカを1セット用意し、様々なところで展示し、顕彰活動につなげる。</li> </ul>	<p>小学校では自由画考古室で常に児童自由画のレプリカが飾られ、子どもだけでなく保護者なども見られる環境が整っている。</p> <p>また昨年に引き続き、飯田信用金庫で展示を行い、銀行を利用する多くの方に見てもらうことができた。</p>
<p>竜丘小学校沿革史 (期 日) 通年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紫水による貴重な沿革史を後世に引き継ぐと同時に、レプリカを作成し、自由画とあわせて観賞できる環境を整える。</li> </ul>	<p>竜丘地域自治会を中心に、「木下紫水が描いた学校沿革史保存顕彰実行委員会」を立ち上げ、児童自由画と並ぶ貴重な資料であった学校沿革史のレプリカ作製と、文化祭での講演会の実施、小学校での授業への活用を推進した。当委員会としても、自由画に関する知識面での協力や、作業への協力などを行った。</p>
<p>自由教育について (期 日) 通年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自由画の背景にある自由教育の研究について検討する。</li> </ul>	<p>文化祭での市民大学講座で「竜丘の教育文化に対する紫水の想い」と題し、文化委員会、竜丘地域自治会と内容を協議し、自由教育に関する講演会を実施した。</p>